

- 01 一般工業用圧力調整器
- 02 分析機用・半導体用圧力調整器
- 03 ガス供給ユニット・集合装置
- 04 ガス供給ユニット・集合装置関連機器
- 05 その他装置
- 06 液化ガス蒸発器

07 減圧弁・切替装置

- 08 高圧ガス用継手
- 09 溶断器・アクセサリ
- 10 計器
- 11 参考資料・データ

- 自動切替減圧弁・装置
- 半自動切替セミオとは
- 半自動切替セミオ
- ガス別選定表
- セミオTN-50B
- セミオTN-50S
- 届出不要セミオTFS-50
- 一体型セミオTNO-50H
- 半自動切替減圧弁
- 腐食性ガス用アセチレン用
- プロパン用セミオTN-50AS・S・B
- ハイセミオSR-50TN
- ヒーター付セミオTN-50C・50HC
- フィン付セミオNHS-5
- SUS
- ヒーター付セミオTN-25SC
- セミオTN-200
- YM-301
- パネルタイプ
- NPR-3・NPR-4
- パネルタイプ
- 半自動切替装置
- R-120・R-150・YM-301L・R-120LM
- パネルタイプ
- YR-200・YR-5061
- パネルタイプ
- 半自動切替セミオの作動原理
- セミオ
- トラブルシューティング
- 機械式全自動切替弁
- シャトル3 TN-660
- オートチェンジャー(一般品)
- オートチェンジャー(認定品)
- オートチェンジャー(パイプタイプ)
- ロボガード(重量切替タイプ)
- 自動切替装置

半自動切替セミオの作動原理(TN-50の設定圧力の場合)

セミオは、切替圧力調整器と出口側圧力調整器、および空系列へのガスの逆流防止用逆止弁を1セットとしております。
 切替圧力調整器は、1つの本体に2つの圧力調整器で構成されており、この2つの圧力調整器の出口部(二次室)でつながっています。このため、**二次側設定圧力の高い圧力調整器から常にガスが流れます。**圧力調整器は、設定圧力より二次室の圧力が高くなると、ダイヤフラムを押し上げ、弁を閉じます。レバーを操作することによって交換したボンベ側の二次側設定圧力を下がり、交換したボンベが待機状態になります。

A系列の状態 (0.8MPa固定)		説明図	B系列の状態 (0.95~0.65MPa可変)	
二次側設定圧力	ガスの流れ状況		二次側設定圧力	ガスの流れ状況
0.8MPa	待機状態		0.95MPa	ガスが流れている。
0.8MPa	二次室が0.8MPa以下になると自動的にガスが流れる。		0.95MPa	元圧が下がり、二次室が0.8MPa以下になると自動的にA系列に切り替わる。
0.8MPa	ガスが流れている。		0.95MPa ↓ 0.65MPa	レバーを180°回転させてから、ボンベの交換をする。 (A系列元圧が0.8MPaになるまでにB系列を充ボンベに交換) △注意:レバーを180°回転させないと交換したボンベから消費されます。
0.8MPa	ガスが流れている。		0.65MPa	待機状態
0.8MPa	元圧が下がり、二次室が0.65MPa以下になると自動的にB系列に切り替わる。		0.65MPa	二次室が0.65MPa以下になると自動的にガスが流れる。
0.8MPa	レバーを180°回転させてから、ボンベの交換をする。 (B系列元圧が0.95MPaになるまでにA系列を充ボンベに交換) △注意:レバーを180°回転させないと交換したボンベから消費されます。		0.65MPa ↓ 0.95MPa	ガスが流れている。
0.8MPa	待機状態		0.95MPa	ガスが流れている。

上記 繰り返し

※切替圧力調整器の二次側設定圧力に0.95MPa~0.65MPaの変動がありますが出口側圧力調整器で調整されるため、使用圧力は、ほぼ一定に保たれます。
 ※ボンベ交換時、逆止弁があるため、ガスは逆流しません。(逆止弁無しタイプは除く)